

# 会社概要 / 株主メモ

## Corporate Profile / Shareholders' Memo

(2017年3月31日現在)

### ■ 会社概要

商号	： ころネット株式会社
発足	： 2006年4月 [当社の前身である(有)菅野石材工業の設立は1966年3月]
所在地	： 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1
代表者	： 代表取締役会長 菅野 松一 代表取締役社長 齋藤 高紀
資本金	： 500百万円
決算日	： 3月31日
従業員数	： グループ: 559名 [外、臨時従業員12名] 単体: 30名
事業内容	： グループ運営にかかる経営戦略企画、業績管理、不動産管理、総務・経理・人事等の管理

### ■ 役員 (2017年6月27日現在)

代表取締役会長 菅野 松一	取締役 (常勤監査等委員) 谷藤 静広
代表取締役社長 齋藤 高紀	取締役 (監査等委員) 大出 隆秀
常務取締役 羽田 和徳	取締役 (監査等委員) 菅野 晴隆
取締役 菅野 孝太郎	
取締役 菅野 利徳	

### ■ 株主メモ

上場市場	： 東京証券取引所ジャスダック市場
上場日	： 2012年4月25日
証券コード	： 6060
事業年度	： 4月1日から3月31日まで
定時株主総会	： 6月中
株主確定基準日	： 3月31日
剰余金の配当の基準日	： 3月31日、9月30日
株式の売買単位	： 100株
公告掲載方法	： 電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載を行います。 電子公告掲載URL: <a href="http://cocolonet.jp/">http://cocolonet.jp/</a>
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	： 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	： 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
各種事務手続き	： 詳しくは、三菱UFJ信託銀行のHPページにてご確認ください。 <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>



感動のある人生を。  
ころネットグループ

# 株主の皆様へ

2017年3月期のご報告

証券コード 6060




ころネット株式会社  
〒960-0102 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1  
TEL 024-573-6556 FAX 024-573-6560 HP <http://cocolonet.jp/>



※環境に配慮して再生紙と植物由来のインクを使用しています。



# 増収増益を達成。 新たな成長へ向け 舵を切る。

 私たちは、人々の「こころ」に満足と安らぎをもたらすサービスを提供いたします。

— グループ理念 —



代表取締役社長 齋藤 高紀

## 2016年度(2017年3月期)の総括

### 1 事業環境

当社グループの事業基盤である福島県の経済は、東日本大震災からの復旧・復興への取組み等により、一部に弱い動きがみられるものの緩やかな回復が続いています。

そうした中、当社グループを取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が続いております。葬祭市場においては、葬儀施行件数が増加傾向となっているものの、葬儀規模は縮小傾向にあり単価下落の要因となっております。墓石市場においては、埋葬方法・意識の多様化が進み、従来の石塔建立需要は減少傾向を辿っております。また、婚礼市場においては、披露宴を行わない“ナン婚”や、家族や親族のみで行う少人数結婚式などが増加し、マーケットサイズの縮小と単価の下落が続いております。

### 2 主な取組み内容

このような事業環境下、当社グループは現在、中期経営計画(2016年度～2018年度)を推進しており、次の3つの基本方針に基づく施策を展開しております。

- 1 「稼ぐ力」の創出と安定成長
- 2 事業分野の選択と集中
- 3 新たな事業分野への挑戦

中期経営計画基本方針

中計1年目の2016年度は、「選択と集中による収益力回復」に重点的に取組みました。

まず、共に互助会事業を運営する2社を2016年7月に合併し経営の効率化を図るとともに、新生「株式会社ハートライン」として会員様の募集や、互助会を利用した葬儀・婚礼施行の増加に向けた取組みを積極的に展開しております。

石材事業と生花・装販事業についても、2017年4月に再編を

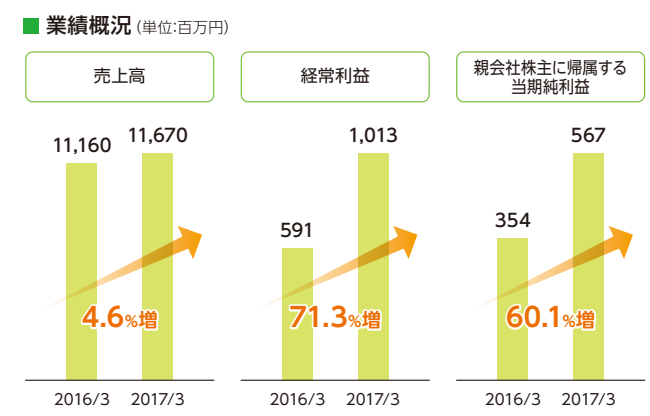
行い、組織の効率化と資源の集中を図りました。石材事業は、卸売と小売で2社にまたがった状況を改め1社に統合し、新生「カン・トレーディング株式会社」としてスタートを切っております。一方、生花・装販事業は社名を「株式会社フルール」とし、単独の会社として、これまで以上に機動的な展開を図ってまいります。

また、婚礼事業においては、大型施設の休館を決定する一方で、少人数結婚式ニーズへの対応を強化するため、2017年4月に小規模施設「廻 郡山」(福島県郡山市)を新たにオープンいたしました。

### 3 業績・成果(連結)

2016年度の連結業績は、増収及び大幅増益を果たしました。売上面では、前期比5億10百万円増(4.6%増)となりました。主に、葬祭事業において福島県内の施行シェアが向上したこと、及び婚礼事業において施行品質の向上努力を背景にして施行単価がアップしたことによるものです。また、生花・装販事業が引き続き好調を維持し、介護事業もサービス付き高齢者向け住宅の入居率が高水準を維持したことも要因となっております。

利益面では、売上増に伴う増益に加え、石材事業において、



円高により仕入コストが減少したこと、さらにグループ全体で経費削減の徹底に努めたこと等により、経常利益は同4億21百万円増(71.3%増)となりました。また、当期純利益は、減損処理や固定資産売却損の計上等があり同2億12百万円増(60.1%増)となりました。

## 2017年度(2018年3月期)の取組み

中期経営計画の2年目となる2017年度は、前述の3つの基本方針に基づきながら、引き続きメリハリのある事業展開を推進してまいります。

当社グループは、「こころ」をキーワードに、福島県を中心とした東日本エリアの冠婚葬祭を総合的にサポートする企業集団として、地域に根差したネットワークづくりを行い、地域における「こころネットグループ」の存在感を高めてまいります。葬祭事業では、既存施設のリノベーションや複数の会員制度による囲い込み策、セミナー等による地域営業等を積極的に展開し、シェア向上を目指してまいります。(関連記事をP5-6に掲載)。石材事業では、取引先石材店様向けのオリジナルプレゼンテーションシステム「KDDシステム」の提案等により、収益機会の拡大を図ってまいります。

“新たな事業分野への挑戦”にも、引き続き取組んでまいります。前年度着手した納骨堂事業については今年度に本格的な展開をしてまいります。さらに、「再生可能エネルギー事業」への新規参入に向け準備活動を本格化します。

また、近年、国内外の投資家の間でESG(環境・社会・企業統治)投資が拡大傾向にありますが、当社グループでも今後、ESGの要素を意識した経営を検討し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、引き続き当社グループの経営にご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

こころネットグループは、現在、3カ年の中期経営計画を推進中です。



■ 中期経営計画の進捗

2016年度以降の施策実施状況

中期経営計画の基本方針に従い、2016年度は以下の施策に取り組みました。

- グループ再編①**
  - 互助会事業会社のハートラインと互助システムサークルを統合 ..... **・ 経営の効率化により経費削減**
- 婚礼施設の休館と新設**
  - 大型婚礼会場を休館とし、小規模婚礼会場を新設 ..... **・ お客様のニーズに対応**  
**・ 将来の維持コストを削減**
- グループ再編②**
  - 石材事業会社の統合 ..... **・ 更なる経営効率化を目指す**
  - 生花事業、装販部門の会社の独立 ..... **・ 機動的な事業展開を図り成長を目指す**
- 新たな分野への着手**
  - 納骨堂(屋内)ビジネス着手に向けた準備
  - 再生可能エネルギー分野参入への調査・検討

最終年度の数値計画修正

2016年度の連結業績や、市場をとりまく環境、施策の実施状況等を総合的に勘案し、中期経営計画の2018年度数値目標を以下のとおり修正いたしました。

なお、基本方針や重点施策は、変更せず継続的に取り組んでまいります。

	当初の2018年度 数値目標	修正後の2018年度 数値目標	増減
売上高	11,582	11,582	—
営業利益	627	865	238
経常利益	719	887	168

単位:百万円

TOPICS 1

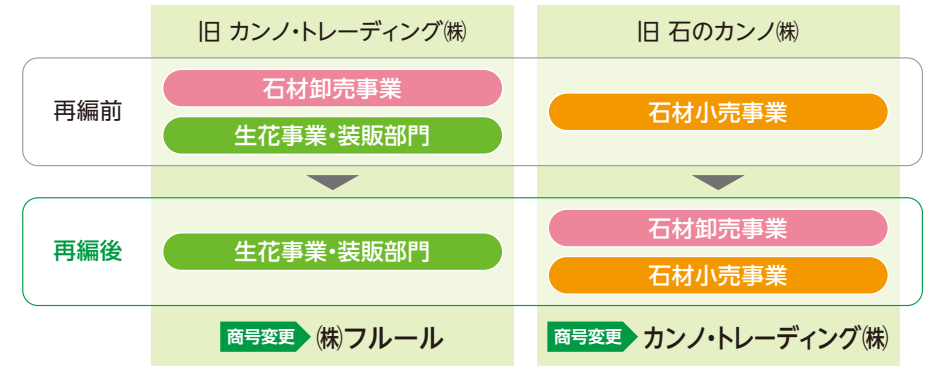
子会社再編により、組織の効率化と経営資源の集中を図る

組織の効率化と経営資源の集中を図るべく、これまで2社に分かれていた「石材卸売事業」と「石材小売事業」を1社に統合しました。

また、「生花事業」および「装販部門」については、単一の会社にて運営・管理することで機動的な事業展開を図る体制としました。

具体的な子会社再編の概要は、右図の通りです。

■ 連結子会社再編の概要(2017年4月1日～)



TOPICS 2

新たな少人数結婚式場「KAI KORIYAMA(廻郡山)」をオープン



婚礼事業の「(株)With Wedding」は、少人数結婚式に対するニーズの高まりに対応すべく、新たな小規模婚礼会場「廻郡山」を福島県郡山市にオープンしました。

■ [WEDDING RESTAURANT KAI KORIYAMA] (廻郡山)

会場  
コンセプト▶▶

一軒家でのゆったり「食」を楽しむ  
ナチュラルモダンなウエディング

隠れ家のような小さな邸宅で  
食を楽しむ「食婚式」

少人数だからこそ叶う  
極上のおもてなし

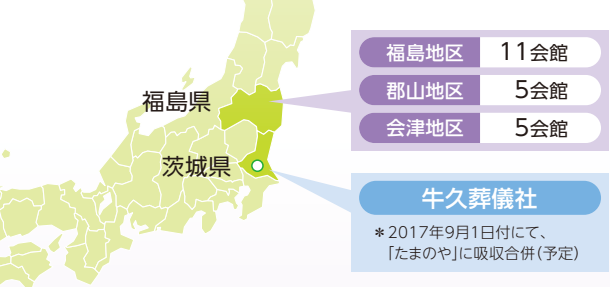
- 所在地: 福島県郡山市大槻町
- 最大収容人数: 50名
- \* 人前式・ガーデン挙式・教会式・神社挙式対応可能

第1回

葬祭事業「たまのや」の取組み ▶ 地域社会に寄り添って、「たまのや」ブランドの浸透と信頼の向上に努めています。

こころネットグループの葬祭事業

「たまのや」は、福島・郡山・会津の3地区に21の葬祭会館を展開し、地域に幅広いネットワークを築いています。また、福島地区には、仏壇・仏具店を2店有しております。2015年7月には「牛久葬儀社」をこころネットグループに迎え、葬祭事業の関東圏進出を果たしました。



「たまのや」がお約束する7つの安心



3つの制度により、地域の皆様の冠婚葬祭をトータルサポート



東日本大震災の孤児・遺児への支援

ご喪家のご理解のもと、香典返しと紙棺「包優」の売上の一部を、福島県「東日本大震災ふくしまこども寄附金」へ寄附。第17回目の寄附で、累計寄附金額が20,385,540円となりました。



寄附金目録の進呈

地域に根差したさまざまな活動を続けています



健康セミナー「笑いヨガ」の開催風景

会館ごとにさまざまなイベントを開催

たまのやは、ライフサポート企業として、地域の皆様の暮らしがより豊かで明るくなるよう、各会館の一角を利用して、さまざまなセミナーやイベント、カルチャー教室などを開催しています。

故人様とご遺族様のこころに寄り添い、真心をもって尽くし、「感謝の伝わる葬儀日本一」を目指しています。



葬祭事業「たまのや」  
福島事業部営業第一課 課長  
菊田 英幸 (きくた ひでゆき)

私が所属する営業第一課は、葬儀の打合せから司会進行、その後のアフターサービスまで、葬儀の一切を担っています。いわば“葬儀のプロフェッショナル”が集っています。仏事に関する知識や地域ごとの習慣などに精通することはもとより、故人様の人柄やご遺族様の意向にしっかりと耳を傾け、故人様(喪家様)らしい葬儀をプロデュースおよびディレクションできる能力が求められます。そして何よりも大切なのは、ご遺族様と共に故人様に感謝し、大切な方を失った悲しみを共有できる“こころ”です。特に、初めて葬儀をなさるご遺族様にとっては、何をどう

進めればよいか分からず不安でいっぱいです。お客様に寄り添い、細やかな打合せを経て葬儀を無事に終えられたときに、感謝の言葉をいただくことが何よりもやり甲斐を感じる瞬間です。お花が大変好きだった故人様の葬儀に際し、ご遺族様から祭壇を花で一杯にして欲しいとの意向がありました。そこで、グループ内の生花部門と綿密な打合せを重ね、“オンリーワンの生花祭壇”づくりを行いました。そして、ご自宅でのご納棺(故人様を棺に納める儀式)の時のことです。ふとお庭に目をやると、故人様がお手入れしていたお花が咲き

誇っていました。そこで、私は「この庭の花も故人様と一緒に棺にお入れしてはどうでしょうか」と提案したところ、ご遺族様が大変感激されました。“こころに寄り添う”とは、こうしたことなのだ改めて感じました。今でも忘れることができない大切な思い出です。葬儀の形態は時代とともに移り変わっても、故人様へ「ありがとう」の気持ちを伝える葬儀の本質はずっと変わらないはずで。私たちはこれからも、真心をもって人に尽くし、「感謝の伝わる葬儀日本一」を目指していきます。

■ 連結貸借対照表(要旨)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。

	前期末 2016年3月31日現在	当期末 2017年3月31日現在
<b>流動資産</b>	5,112	4,403
現金及び預金	2,320	2,593
受取手形及び売掛金	772	717
商品及び製品	425	434
その他	1,594	658
<b>固定資産</b>	16,197	16,640
有形固定資産	11,883	11,422
無形固定資産	202	182
投資その他の資産	4,112	5,034
<b>資産合計</b>	21,310	21,043

■ 連結損益計算書(要旨)

	前期 2015年4月1日～ 2016年3月31日	当期 2016年4月1日～ 2017年3月31日
<b>売上高</b>	11,160	11,670
売上原価	7,638	7,783
<b>売上総利益</b>	3,522	3,887
販売費及び一般管理費	3,100	3,001
<b>営業利益</b>	421	885
営業外収益	262	232
営業外費用	92	104
<b>経常利益</b>	591	1,013
特別利益	28	55
特別損失	117	127
<b>税金等調整前当期純利益</b>	502	941
法人税等合計	148	374
<b>当期純利益</b>	354	567
親会社株主に帰属する当期純利益	354	567

	前期末 2016年3月31日現在	当期末 2017年3月31日現在
<b>流動負債</b>	2,274	2,670
買掛金	352	361
短期借入金	400	482
1年内返済予定の長期借入金	742	631
その他	780	1,196
<b>固定負債</b>	10,771	9,676
長期借入金	2,271	1,265
前払式特定取引前受金	7,876	7,828
その他	623	582
<b>負債合計</b>	13,046	12,347
<b>株主資本</b>	8,140	8,592
資本金	500	500
資本剰余金	2,032	2,032
利益剰余金	5,608	6,059
その他の包括利益累計額	123	103
<b>純資産合計</b>	8,263	8,696
<b>負債・純資産合計</b>	21,310	21,043

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

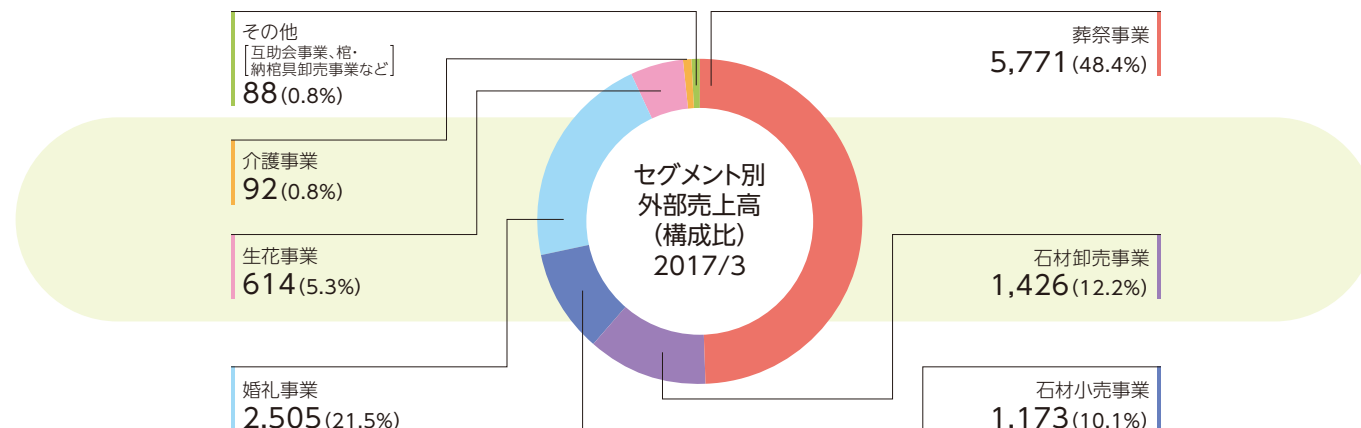
	前期 2015年4月1日～ 2016年3月31日	当期 2016年4月1日～ 2017年3月31日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	597	1,730
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206	△1,171
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	183	520
現金及び現金同等物の期首残高	955	1,139
現金及び現金同等物の期末残高	1,139	1,659

配当政策

当社グループは、企業の発展を通じて株主の皆様のご支援にお応えするために、適切な配当を安定的に行い、将来の事業展開と企業体質の強化のために必要な内部留保を確保して行くことを利益配分の基本方針といたしております。2017年3月期の1株当たり年間配当金については、中間配当15円・期末配当15円に、株式上場5周年を記念した記念配当5円を加え35円といたしました。なお、2018年3月期の1株当たり年間配当金は30円を予定しております。

■ セグメント別外部売上高(構成比)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。



業績・財務コメント

■ 連結貸借対照表

**流動資産**：前払式特定取引前受金保全のための国債が満期償還となり有価証券が減少したこと等により、709百万円減少。

**固定資産**：前払式特定取引前受金保全のため金銭供託預入を行い供託金が増加した一方、減価償却費の計上による建物及び構築物が減少したこと等により、442百万円増加。

**流動負債**：短期借入金、未払法人税等、賞与引当金が増加したこと等により、395百万円増加。

**固定負債**：長期借入金の返済等により、1,094百万円減少。

**純資産**：親会社株主に帰属する当期純利益567百万円に伴う利益剰余金の増加等により、432百万円増加。

■ 連結損益計算書

**売上高の状況**：葬祭事業、婚礼事業、生花事業が好調に推移したこと等により前期比510百万円増加。

**利益の状況**：売上高増加に伴う増益に加え、石材事業において円高により仕入コストが減少し、更にグループ全体で経費削減に取り組んだこと等により、営業利益は463百万円、経常利益は421百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は212百万円増加。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動により得られた資金は1,730百万円となりましたが、主に借入金の返済等の財務活動に1,171百万円使用しました。その結果、当期末における現金及び現金同等物は前期末に比べて520百万円増加し1,659百万円となりました。

たまのや 福島県内：葬祭会館 21施設、仏壇・仏具販売店 2店舗



With Wedding 福島県内：婚礼会場 6施設



石のカンノ 福島県内：石材小売り店舗 5店舗 長野県内：石材小売り店舗 1店舗



牛久葬儀社 茨城県内：葬祭会館 1施設



こころガーデン 福島県内：サービス付き高齢者向け住宅 1施設



株式の状況

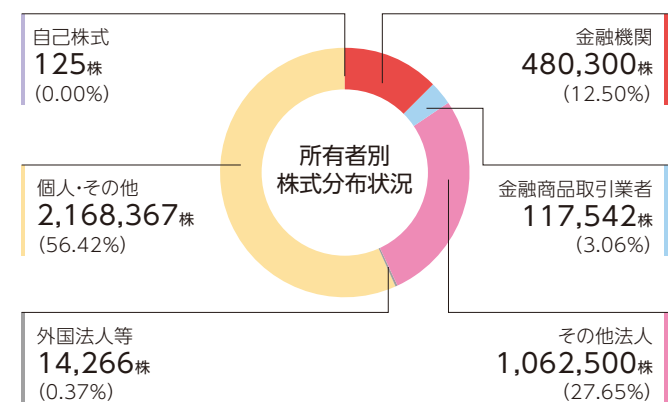
発行する株式の総数 ..... 5,100,000株  
 発行済株式の総数 ..... 3,843,100株  
 株主数 ..... 993名

大株主

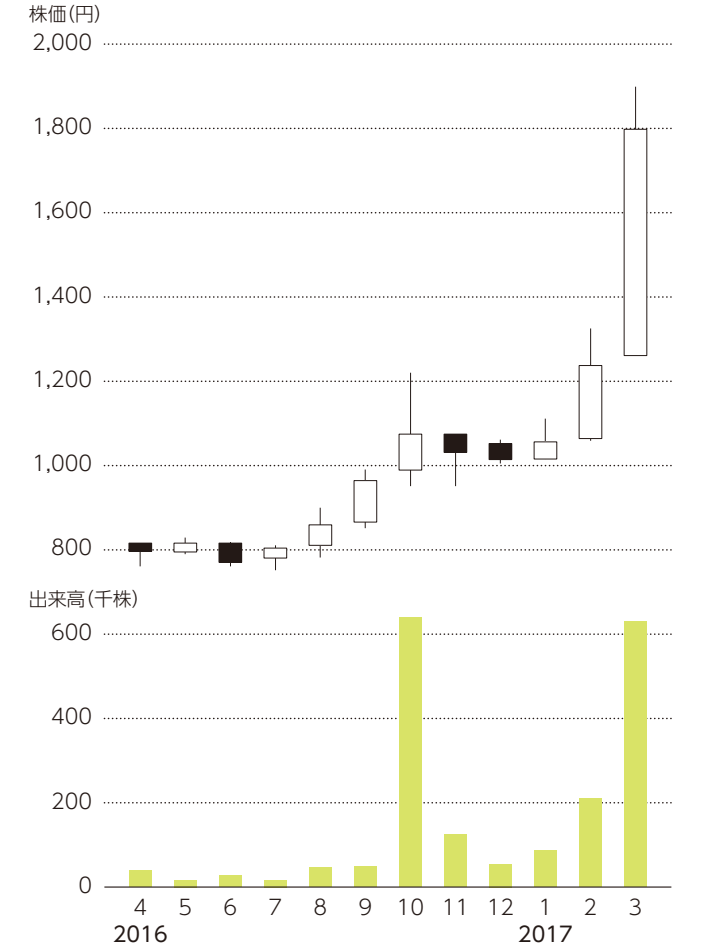
株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
カンノ合同会社	970,000	25.24
齋藤 高紀	380,870	9.91
川島 利介	273,975	7.13
こころネットグループ従業員持株会	191,440	4.98
(株)東邦銀行	175,000	4.55
(株)福島銀行	135,000	3.51
内藤 征吾	81,600	2.12
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	79,200	2.06
齋藤 フヨ	74,830	1.95
三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	71,000	1.85

※カンノ合同会社は、当社代表取締役会長菅野松一氏並びにその親族の保有資産の管理を行う会社です。

所有者別株式分布状況



株価・出来高の推移



(2017年3月31日現在)